

Club News

No.10 2023.1

新年あけましておめでとうございます。2023年も、何卒よろしくお願ひいたします。

今回も、県内クラブ活躍PickUpをはじめ「運動部活動の地域移行に関するフォーラムinかがわ」の報告など最新情報を掲載しております。今年も『知っておくとふとした瞬間役に立つ』、そんな情報をたくさん発信していけたらと思います。よろしくお願ひいたします！

▶ 県内クラブの活躍Pick Up !

▶ NPO法人スポーツクラブ飯山が JSCの実地状況調査に対応！

昨年12月15日(木)、JSC担当者2名がtoto助成事業「クラブアドバイザー配置事業」の実地状況調査のため来県。NPO法人スポーツクラブ飯山をヒアリングしている様子を視察いただきました。

クラブHPの開設やお遍路アプリの開発、定期活動の見直しなどについて情報共有・交換を行い、大変充実した時間となりました。



▶ ファイブカラースが地域部活動実施に 向けたプレ事業を開始！

ファイブカラースは、運動部活動の地域移行を見据え、子どものニーズが高い・下笠居中学校部活動にない種目をクラブで取り組もうと進めています。

昨年12月は、TASS指導者協力のもと、バドミントンのプレ事業を2回実施。教室後は移動駄菓子屋もあり、多くの子どもが参加しました。



▶ 高松市中央商店街を全活用した スポーツイベントを開催！

昨年12月28日(水)、高松中央商店街で経済産業省「がんばろう！商店街」事業を活用したイベントが開催されました。

アーケードでスポーツ体験スタンプラリーが行われ、(一社)ウェルネスファムが、ライオン通り商店街の多目的交流施設で貯筋運動を実施するなど、大いに盛り上がりました。



▶ 土庄町で古民家を活用した会員制 運動施設がオープン！

土庄町の総合型クラブ・(一社)小豆島スポーツィーズで活躍されてきた健康運動指導士が、昨年10月、古民家を活用したジムをオープンしました。

R4年度末には、特定保健指導にも取り組んでいく予定だそうです。



会員制運動施設
「STEP sports
community」

▶ 【共有】四国ブロッククラブネットワークアクション2023in香川 開催日程等について

- **日時：2023/11/19(日)10:00~16:30**
(※日程は確定、時間は多少前後する可能性有)
- **会場：サンメッセ香川 中会議室**
(※オンライン併用予定)

R3~R4年度、愛媛県で開催された四国ブロッククラブネットワークアクション。R5~R6年度の2年間は、香川県での開催が決定しています。

四国のクラブ関係者が一堂に集まる、年1回の貴重な機会。一緒に盛り上げていきましょう！

【Club Newsに関するお問い合わせ先】

メール：club-kagawaken@japan-sports.or.jp

電話：087-832-3762 (県教育委員会事務局保健体育課・生涯スポーツグループ：山家)

➤【報告・共有】地域部活動推進事業の進捗状況等について

2023/01/14(土)

県スポーツ協会主催「運動部活動の地域移行」に関するフォーラムinかがわ

講演「運動部活動の地域移行をめぐる」

講師：友添秀則氏（「運動部活動の地域移行に関する検討会議」元座長）



かつて香川大学教育学部でも教鞭を執られていた友添教授。

講演では「30年後に『昔、部活動改革を行ってくれた人達がいるおかげで、こんなに恵まれた環境で活動できる』と思う子どもがいる、そんな未来を目指し知恵を出し合っていきましょう」とエールが送られました。

質疑応答では、全県的な広報の手段、R5年度以降部活を持たないという教員への対応、平日の部活動についてなど、様々な悩みが寄せられました。

【講演メモ】

- この改革は学校から地域への水平移行ではない。その部活動が本当に必要かどうかも含め「生徒のスポーツ権の確保」を最大の目的とし、検討を進めること。
- 日本の学校運動部活動は、世界に類のない独特のスポーツ教育システム。一度壊すと元に戻すことはできない。
- 『運動部活動』ではなく『スポーツ』そのものに人間形成要素があることを忘れてはならない。

県内スポーツ関係者へのアンケート調査結果報告

発表：高井信一氏（県スポーツ協会事務局長）

昨年12月、県スポーツ協会は①公認スポーツ指導者、②スポーツ少年団、③総合型クラブの3団体に「運動部活動の地域移行に関するアンケート調査」を実施しました。

今回、その調査結果および考察を公開。地域移行に関する理解度や休日の部活動への協力が可能か否



か、また協力にあたり必要となる条件などが明らかとなりました。

「地域部活動推進事業」実践研究中間報告

発表：増田一仁氏

（県教育委員会事務局保健体育課指導主事）

県教育委員会事務局保健体育課では、R3～R4年度にかけてスポーツ庁「地域部活動推進事業」を受託。県内各市と連携しながら実践研究や検討委員会の開催などを行ってきました。

今回、R4年度実践研究市となっている高松市、三豊市、東かがわ市の現状や成果、課題等について、



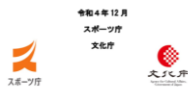
指導主事より発表がありました。

質疑応答では、合同部活動に関する質問が多く、参加者の関心の高さが窺えました。

要確認！！

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン



昨年12月27日、スポーツ庁と文化庁は、学校部活動の地域移行に向けた新たなガイドラインを策定・公開しました。

今回のガイドラインは、2018年に両庁がそれぞれ策定した「運動部活動／文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で、全面改定したものです。

- 2023(R5)～2025(R7)年度の3年間で「改革推進期間」とし、地域連携に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すこと。
- 学校と地域の連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき仕組みを「地域クラブ活動」とすること。
- 全国大会も含めた大会の在り方の見直しや、合同部活動の在り方……等々が示されました。



スポーツ庁「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月）」
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/1405720_00014.htm